

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	フェムト秒時間分解 STM による光誘起ダイナミックスのナノスケール分光
研究代表者	重川 秀実（筑波大学・数理物質系・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>応募者が、世界に先駆けて開発に成功したフェムト秒時間分解走査型トンネル顕微鏡は、原子レベルの空間分解能でスピンまで含めた光励起キャリアダイナミックスの測定を可能とする画期的な装置であり、これを利用した分光技術は国際的にも高い評価を受けている。本研究はこの技術を更に高度化し、機能性原子・分子薄膜やヘテロ有機薄膜太陽電池など、測定対象の拡大を図る内容であり、引き続き世界を先導する成果が期待される。</p> <p>以上を鑑み、基盤研究（S）として推進することが適当であると判断した。幅広い分野の研究者との連携により研究がより大きく展開することを期待したい。</p>